

## 「小学校の防犯診断を通じて」

NPO 法人大阪府防犯設備協会 防犯設備アドバイザー  
株式会社ディー・ケイ 営業推進部 部長

近藤 雅洋



小学校の防犯診断にご協力頂けますか？

事務局の方から連絡が入った時は本当の意味でようやく社会に貢献できると思いました。

これまで自分が培ってきた防犯の経験や知識が具体的に社会に還元できる、またそれは自分が育った小学校に近いエリアだったこともこの仕事をしていてよかったと思えた瞬間でした。

防犯設備士の仕事は大きくわけて4つになると私は考えています。

### 【1】防犯システムを専門的に計画すること

これは新築や改装の初期の段階で求められることですが、ビジネス、政府、住宅、学校などの様々な場所で防犯設備を導入し、そこで生活や仕事を営む人々の安心や安全を確保するために総合的には知識、具体的な細かい知識を役立てます。具体的には顧客のニーズに応じて、カメラ、監視システム、アクセス制御、防犯アラームなどの防犯機器を選択し、組み合わせ、場所のレイアウトや物理的な特性を考慮し、最適なシステムの配置の設置計画を立てます。

### 【2】防犯機器を設置すること

センサーランや監視カメラシステム、アクセス制御システムなどを適切に配置し、正しく接続し、それぞれの機器の必要とする配線や電気、抵抗などを考慮して、各々の機器が正常に動作するように配線、結線、調整します。また、設置後はテストを行い、問題がある場合は調整・修正することもあります。監視カメラを例に言えば監視カメラの設置場所を決定し、カメラの角度や位置を調整します。カメラ本体の取り付けや配線、映像の収集などを行います。特にレコーダと呼ばれる記録装置と各カメラの配線距離、ネットワークとつなぐ場合のLAN配線の種類などを考慮し設置、テストを行い正常にかつ安定してカメラが動作するよう必要であれば対策を取ります。

### 【3】防犯設備をメンテナンスすること

定期的な点検を行い各機器の動作状況をテストすること、テストの結果を定點的に判定し必要であれば修理・交換、またはアップグレードなどを行い、設備が正常に機能するように維持します。点検作業には設備の動作テスト、配線の点検、各部品の点検などが含まれます。故障

があった場合、取替えや修理を行います。故障の修理には、部品の交換、配線の修正、システムの再設定も含まれます。特に防犯機器の中でも監視カメラシステムは頻繁にソフトウェアのアップグレードが行われており関連するソフトウェアの更新や再設定を行うことが必要です。また大型ビルや商業施設などで防犯システムが一元的なシステムで構築されている場合は全体のシステムと関連し影響しその建物の機能を一部でも停止するような可能性がある場合は昼夜問わず速やかに対処し必要な判断を行うこと。手段を検討し対応する必要があります。また再発を防止するための対策を検討してお客様へ説明、実行することも必要です。

#### 【4】お客様とのコミュニケーションを図ること

私はこれが一番大事と考えています。お客様の要望に合わせた防犯設備を提供することが求められます。しかしお客様のニーズは人や建物によって異なります。そのため、お客様とコミュニケーションを取ることで、お客様のニーズや要望を理解しヒアリングすることができます。お客様とのコミュニケーションが十分でない場合、必要な情報を得られず、お客様が求める防犯設備を提供することができなくなる可能性や設置後求めていたものと違うというミスマッチが発生する可能性があります。例えば、住宅用の防犯カメラを設置する場合、お客様の住宅の形状や周辺の環境、ご家族の生活の状況などを把握して、適切な設置場所やカメラの種類を選択する必要があります。そのため、お客様との対話の中から要望やニーズを理解するコミュニケーションが必要不可欠だと考えています。

冒頭の小学校の防犯診断では事前に以下のことを念頭に置いておりました。

#### 【1】建物全体の点検

学校の防犯診断では、まず建物全体を点検することが大切と考えました。外壁や窓、ドア、フェンスなど、建物の外周部分にあるものから点検を開始します。これにより、足場になり容易に侵入できる環境は無いかなどの建物の外部からの不法侵入を防ぎ、犯罪のリスクを低減することができます。

#### 【2】内部の点検

次に、建物内部を点検しました。教室や廊下、トイレ、ロッカー室など、学校内の各施設を点検します。点検の際には、現在設置されている防犯設備のみならず鍵の実態や窓の状況のみならず照明や換気設備、エレベーターなどの設備の点検も行います。これにより、建物内部の安全を確保し、生徒や先生の安全を守ることができます。

#### 【3】防犯対策の確認

点検後、防犯対策のヒアリングを行うことを想定しておりました。この際には、建物の特徴や用途、周辺の環境などを考慮し、最適な対策を提案するため様々なことをヒアリングすることが求められます。例えば、監視カメラの設置、セキュリティシステムの導入、鍵の管理方法

の見直し、照明の改善などが考えられます。ヒアリングした結果、最適な防犯対策を提案することで、学校の防犯対策を強化し、安全で安心な環境を確保することができます。

実際の防犯診断を行った際は、学校全体を案内していただき、建物全体や内部の点検を行いました。その結果を踏まえて校長先生や担当の先生からヒアリングを通じて現状の把握、提案の検討を行いました。例えば正門や通用門の施錠の状況、扉などの高さなどの結果を測定し、予め想定していた防犯設備との比較・提案を行いました。提案した内容の数字や機器性能は防犯設備士としての知識や経験に基づく内容の提案になります。



フェンスの高さを測っているところ



正門の高さを測っているところ

私たち防犯設備士は専門的なスキルと知識が必要でセキュリティシステムの種類、防犯機器の性能、電気工学、通信技術、建築、法律などについて深い知識を持つ必要があります。また機器の発展やソフトウェア更新などが頻繁に行われており自分のスキルや知識を絶えず更新する必要がありそのためには様々な情報を得る機会を設ける必要があると考えております。